

Step Up!

加古川商工会議所の経営指導を受け、さらなる飛躍
 に向け「一步」を踏みだした会員さんを紹介します。



思い出の
 1枚を
 残しませんか

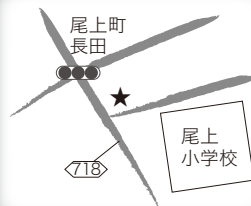
アケミ写真館

代表 丹羽 にわ 真平 しんぺい

所在地：加古川市尾上町長田526-37

TEL：079-422-4423

営業内容：写真撮影全般



お客様の「ナチュラル」を写真に

「当スタジオのコンセプトは『ナチュラル』。お客様の自然な笑顔を引き出せるように、撮影場所の雰囲気や大切にしています」と笑顔で語るのはアケミ写真館の代表、丹羽真平さん。1938年に祖父が開業し、80年以上続く歴史ある写真館を奥様の絵里香さんと二人三脚で守り続けています。店内に足を踏み入れると、歴史を感じるしっとりと溢れるスタジオ：・ではなく、太陽の光が差し込む真っ白な広々とした空間にアンティーク調の家具や、2階へ続く螺旋階段、そしてガーデンにはベンチと季節の花々が、「室内は自然の光を取り入れやすいように、大きなガラス窓にしています。子供さんは初めて来る場所で、狭いスペースに大きな機材がたくさんあると、緊張してなかなか自然な笑顔が出せません。家にいるような空間でゆったりとした気持ちで撮影に臨んでもらいたいと思います。リフォームしました。ガーデンもそうです。ここだと、どこか別の場所に行っているかのような場面が、移動せずに撮ることができるので、子どもさんも疲れた表情になることがありません」と、自然な表情を引き出すことを得意とする丹羽さんにとって、お客様が開放的な気分になる外にあるガーデンは大事な販促ツールの一つです。他にも、洗面所も広く改装しおむつ交換台も完備して、長時間の撮影にも困らないよう配慮を施しました。

補助金を使いお客様の満足感をアップ

「ガーデンと洗面所の改装は、小規模事業者持続化補助金を使用しました。申請書を作成する際、商工会議所の西山さんと中田さんからアドバイスをもらい、この補助金でお客様に満足していただけるような撮影スペースも作れました。さらにこれをきっかけに自社の経営をしっかりと見つめ直すことができ。職員の方からも第三者の目で冷静に経営のアドバイスをしてもらい、より良い方向へと導いてくれました。今までの補助金は2回とも店内改装という設備に対してのものだったのですが、「じゃあ、次は集客方法について考えましよう」とアドバイスもあり、3回目の申請を考えています。またこれをきっかけに新たな長所・改善点を見つけ出し、お客様に喜んでいただける写真館にしていきたいですね」と次なるステップに踏み出そうとしています。

店内には多くの写真が飾られており「写真は額に入れるのもいいですが、額無しのキャンバス生地にするのもいいですよ。額が無いので壁・棚などインテリアにもマッチしやすいと思います」丹羽さんが一つ一つ丁寧に手作業で仕上げたキャンバス写真からは手作りの温かさを感じます。

「写真館をやっている良かったのは、お客様の成長が我が子のように見られること。赤ちゃんだった子が小学校に入学し、中学校に入学し・・・と、成長を見届けることができるのは感慨深い

です。そしてその子の次の世代、さらに次の世代の成長と思い出を撮り続けられるよう、お客様が喜んでいただける写真を撮っていきます」
 丹羽さん夫妻が丹精込めて世話をしたガーデンの花も、2年目を迎えて良い具合に咲き揃ってきたとのこと。ナチュラルな笑顔の1枚を残してみたいかがですか。

屋内の広々とした撮影スタジオと、屋外にはおしゃれなガーデン

人気のキャンバスタイプ。インテリアにマッチしやすい